

令和 4 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	公民「政治・経済」	単位数	2 単位	必修
対象学年・組	3年1組～5組			
担当教員	矢田 俊輔			
教科書等	『高等学校 改訂版 政治・経済』(第一学習社) 『2022 新政治・経済資料』(実教出版)			

学習の目標	基礎的な政治・経済のしくみを体系的に理解し、社会に出たときに必要不可欠な知識を習得することを目的とする。世の中のできごとに関心を持ち、自分で考えたことを、自分で表現し、公民的資質を身に付ける。
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 民主政治の基本原理	24	必修の政治経済では、政治・経済分野の基本的な事項を学習する。1学期は主に政治分野を中心に、民主政治の基本原理、日本国憲法の成立過程と本質、選挙制度の仕組みなどを扱う。特に選挙制度については、18歳から選挙権を行使することができるため、実際の投票を見据えた知識・技能を習得する。
	② 諸外国の政治体制		
	③ 日本国憲法の成立		
	④ 平和主義と日本国憲法		
	⑤ 選挙制度の原理と仕組み		
	⑥ 基本的人権の成立史と中身		
	⑦ 新しい人権概念とその課題		
2学期	⑧ 資本主義経済と社会主義経済	28	2学期は、経済の分野を扱う。資本主義経済と社会主義経済の仕組み、経済主体、市場経済の機能と限界など、経済にまつわる基本的な原理や概念を学ぶ。その際、最新のデータを参照し、現代の経済の特徴を的確につかむことを目指す。そして、税と社会保障、労働問題など、自分が生きていくうえで必要不可欠な社会の構造を理解する。
	⑨ 経済主体と経済活動		
	⑩ 市場経済の機能と限界		
	⑪ 景気変動		
	⑫ 財政の仕組み		
	⑬ 日本経済の歩み		
	⑭ 消費者問題と労働問題		
⑮ 社会保障制度・社会保障と税の一体改革など			
3学期	⑯ テーマ別学習1～「大きな政府と小さな政府」など	18	3学期は多くの生徒が大学受験に挑む時期であることを考慮し、テーマ別の学習を進める。特に、地球環境問題や国際紛争など、現代の諸課題と呼ばれる分野を重点的に学習する。
	⑰ テーマ別学習2～「産業構造の変化と中小企業」など		
	⑱ テーマ別学習3～「消費者問題と消費者保護」など		
	⑲ テーマ別学習4～「地球環境問題」など		
	⑳ テーマ別学習5～「南北問題と国際協力」など		

評価の観点・方法	定期考査、提出物、学習状況の観察などを勘案し、総合的に評価を行う。
----------	-----------------------------------